

第Ⅳ部 総 括

第1章 高松平野における片袖式横穴式石室について

今回報告した平石上2号墳は、片袖式の横穴式石室を埋葬主体部としてもつが、高松平野では両袖式の横穴式石室が多く見受けられる。そこで、高松平野における横穴式石室の規模や分布を通して、両者の違いを浮き彫りにしたい。なお、石室研究においては、平面プランのみならず立体的な構造なども対象とする必要があるが、基底部しか残っていない石室も多く、今回は紙数の都合もあり平面プランを中心に論及する。

【横穴式石室の導入期】

高松平野では、大阪府陶邑編年^(田辺1981)のTK43～TK217型式併行期にかけて、横穴式石室墳が多数築造されているが、その導入時期は讃岐西部に比べて遅れるようである。讃岐西部では、MT15型式やTK10型式併行期といった6世紀前半には横穴式石室が確実に導入されている一方、高松平野で確実になのは6世紀後葉であるTK43型式併行期の時期である。ただし、平野南東部にある丸山古墳の横穴式石室は、古い様相を呈することから6世紀前半にまで遡る可能性^(岡本1995)があり、平野東部で複室構造をもっていた小山古墳(消滅)も同様である。今後、6世紀前半の横穴式石室が確認される可能性は高いが、それでも導入期の石室数を比較した場合、讃岐西部が高松平野より圧倒的に多い状況である。

【時期別に見た横穴式石室の平面プラン】

第5表は、高松平野に所在している横穴式石室のうち、石室の平面プランや規模が判明しているものを一覧表にしたものである。行政区画では主に高松市で、木田郡三木町も含めている。

石室の形態を時期別に見た場合、TK43型式併行期には両袖・片袖式とも両者が見られる。無袖式は現在のところTK217型式併行期に登場するが、TK209型式併行期には採用されている可能性がある。TK217型式併行期になると、石室の小型化が進むが、両袖・片袖式とも残っており、平野東部では無袖式が顕著に見られる。

【玄門部における比較検討】

高松平野に所在する横穴式石室の玄門部には、袖石に大型の石材を縦長に使用し、その上に楣石(まぐさいし)を載せる玄門立柱と呼ばれるものが多く、九州型の影響と解釈されている。両袖式は、袖石と楣石の間に1～2石が入るものも含めて玄門立柱がほとんどを占め、新しい時期になると平木2号墳のように玄門立柱でないものも見られる。片袖式は、袖石に大型石材を縦長に使用するが、反対の壁には立柱がないものがほとんどである。ただし、丸山古墳のように古い時期のものは袖石も小型の石材を使用しており、東赤坂古墳のように石室が比較的大型のものは玄門立柱を意識している。

【横穴式石室の規模】

第55図は、高松平野に所在している横穴式石室の玄室長と幅を、両袖・片袖式に分けてグラフ化したものである。これによると、玄室長3.8m以上、同幅2.3m以上になると両袖式のみが占め、以下だと両袖式と片袖式が混在している。このことは、床面積が9㎡以上の大型石室には、片袖式が採用されず、両袖式のみを採用していることを表している。さらに論及するなら、大型石室を構築するだけの力を有する首長墓には、片袖式が採用されていないことを示している。実際、小型の片袖式石室である野倉4号墳のように、被葬者が低位階層であると捉えることが可能な例もある^(信里2006)。ただし、床面積に起因する両袖・片袖式の採用については、大型石室が構造上の理由により両袖式を採用している可能性もあり、石室規模だけでなく墳丘や副葬品組成も含めた総合的な検討が必要である。

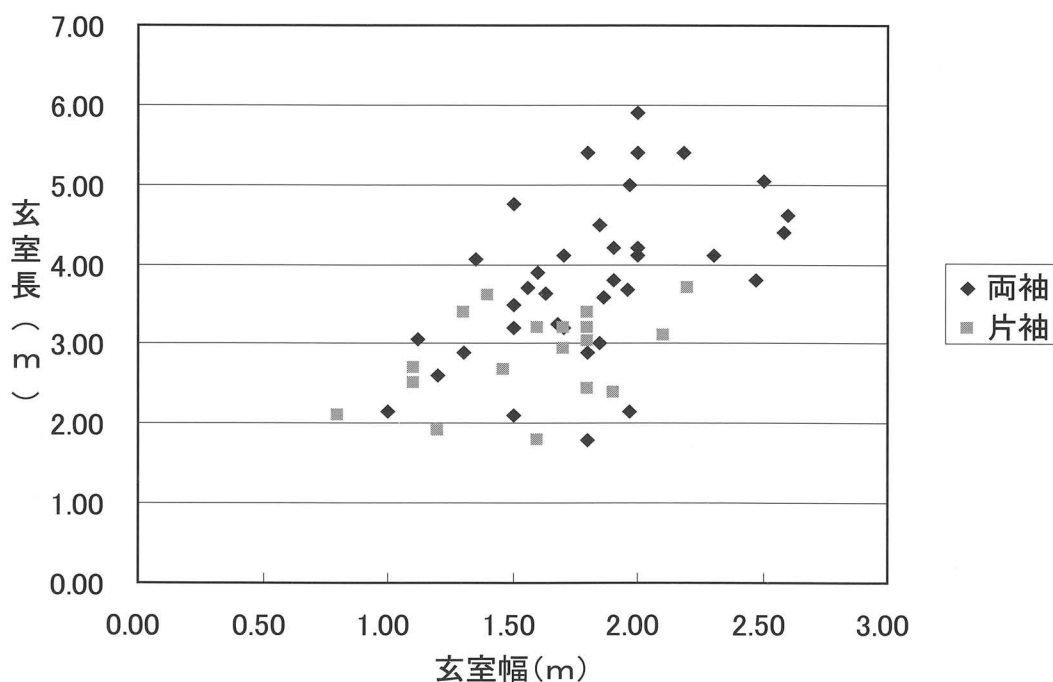
【横穴式石室の分布】

第56図は、高松平野に所在している横穴式石室を両袖・片袖・無袖式に分けて、地図上に表したものである。このうち、玄室床面積が約9㎡以上のものは、大きい印としている。まず平野東部では、両袖または無袖式のみで占められ、片袖式が全く見られないことである。平野西部でもほぼ同様に、平木4号墳のみが片袖式であるが、この古墳の袖石は残っておらず石材の抜き取り穴から片袖式と推測されているだけである。平野北部の石清尾山周辺では、21基中15基が両袖式、5基が片袖式と、両袖式が約7割を占めて片袖式が混じる。ただし、片袖式5基のうち調査されたのは1基のみで、他の4基の実態は分かっていない。平野南部では、他の地域と様相が一変する。18基中13基が片袖式で、両袖式が5基となり、片袖式が約7割を占める。このように、高松平野では、平野南部においてのみ片袖式が積極的に採用されているのである。さらに、平野南部で両袖式を採用している古墳を見ると、香東川に面し川原石を石材に使用している龍満山1号墳や春日川に面した中山田3・4号墳は、大型河川に面していることから両袖式採用地域の影響が想定でき、矢野面古墳は床面積が9㎡を超える大型石室である。

【まとめ】

以上の検討結果から、高松平野における片袖式の横穴式石室は、次のような評価ができる。

- ① 首長墓級と呼ぶにふさわしい大型の横穴式石室は、すべて両袖式であり、片袖式は採用されていない。ただし、その理由については、政治的選択がなされたのか、石室の構造力学上によるものかは明らかでない。
- ② 平野の地域別における分布状況を見ると、片袖式は平野南部で約7割を占め圧倒的に多い。ただし、①の原則は南部でも守られている。片袖式が多い理由については明らかでないが、平野で最古の横穴式石室を有する丸山古墳は注目できる。片袖式である丸山古墳の影響下に、平野南部で片袖式が広まった可能性があるが、現段階では推測の範囲内である。一方、平野東部では小山古墳、平野西部では山野塚古墳や古宮古墳といった古い時期の古墳で両袖式が採用されているが、6世紀前半に遡る古墳の内部構造が不明確であるため、今後の調査事例の増加が待たれる。



第55図 高松平野における主要な横穴式石室の規模グラフ



※網掛け範囲は標高100m以上

第56図 高松平野における主要な横穴式石室分布図 (縮尺1/100,000)

番号	古墳名	石室	玄室 (m)			築造時期	主な副葬品	参考文献
			長さ	平均幅	面積 (㎡)			
1	久本古墳	両袖	4.60	2.60	11.96	TK209	須恵器, 銅椀, 鉄鏃, 陶棺	Q
2	山下古墳	両袖	5.05	2.50	12.63		(未調査)	B
3	小山古墳	両袖	4.10	2.30	9.43		(未調査)	J
4	長尾1号墳	両袖	3.00	1.85	5.55		(未調査)	J
5	漆谷1号墳	無袖		1.00		TK217	土師器	R
6	漆谷2号墳	無袖		1.00		TK217	須恵器	R
7	漆谷3号墳	無袖		1.00		TK217	鉄釘	R
8	久米池南遺跡1号	無袖		0.60		TK217	須恵器	P
9	久米池南遺跡2号	無袖		0.80		TK217	須恵器	P
10	金石2号墳	両袖	3.58	1.86	6.68		(なし)	A B
11	平尾1号墳	両袖	3.69	1.96	7.23		須恵器	A B
12	潮満塚古墳	両袖	4.39	2.58	11.33		(未調査)	J
13	山本古墳	両袖	3.25	1.68	5.46		(未調査)	J
14	風呂谷古墳	両袖	2.90	1.80	5.22	TK217	須恵器, 土師器, 鉄釘	V
15	石清尾山2号墳	両袖	3.50	1.50	5.25		須恵器, 金環, ガラス玉	L, N
16	石清尾山3号墳	両袖	3.21	1.50	4.82	TK209	須恵器, 金環, 鉄鏃	L, N
17	石清尾山4号墳	両袖	5.00	1.97	9.85		須恵器, 土師器	M, N
18	石清尾山5号墳	両袖	2.15	1.97	4.24		(未調査)	L, N
19	石清尾山7号墳	無袖		1.06			須恵器, 刀子	L, N
20	石清尾山10号墳	右片袖	2.67	1.46	3.90	TK209	須恵器, 金環, 鉄製品	M, N
21	石清尾山13号墳	両袖	2.10	1.50	3.15	TK43~TK209	須恵器, 刀子, 鉄鏃	M, N
22	石清尾山20号墳	両袖	2.15	1.00	2.15		(未調査)	N
23	北山浦1号墳	両袖	3.90	1.60	6.24		(未調査)	J, N
24	北山浦2号墳	右片袖	1.80	1.60	2.88		(未調査)	J, N
25	奥の池2号墳	両袖	4.50	1.85	8.33		(未調査)	J, N
26	野山1号墳	右片袖	3.10	2.10	6.51		(未調査)	J, N
27	野山2号墳	左片袖	3.20	1.60	5.12		(未調査)	J, N
28	浄願寺山1号墳	両袖	4.05	1.35	5.47		(未調査)	J, N
29	浄願寺山4号墳	両袖		2.35			(未調査)	J, N
30	浄願寺山10号墳	両袖	3.63	1.63	5.92		(なし)	J, N
31	浄願寺山11号墳	片袖					(未調査)	J, N
32	浄願寺山32号墳	両袖					(未調査)	J, N
33	南山浦9号墳	両袖	4.75	1.50	7.13	TK209~TK217	須恵器, 金環, ガラス玉	O
34	南山浦11号墳	両袖	4.10	2.00	8.20	TK209	須恵器, 土師器, 銀環, 馬具, 鉄鏃, 鉄鎌	O
35	南山浦13号墳	両袖	2.60	1.20	3.12	TK209	須恵器, 土師器, 鉄釘	O
36	弾正原古墳	両袖	3.80	1.90	7.22		(未調査)	K
37	山野塚古墳	両袖	5.40	2.00	10.80	TK43?	(なし)	S
38	古宮古墳	両袖	5.90	2.00	11.80	TK43~TK209	須恵器, 金環, ガラス玉, 馬具, 太刀, 刀装具	S
39	鬼無大塚古墳	両袖	5.40	2.18	11.77	TK209	須恵器, 土師器, 馬具, 鉄釘	S
40	平木1号墳	両袖	5.40	1.80	9.72	TK209~TK217	須恵器, 土師器, 陶棺, 金環, 太刀, 鉄斧	S
41	平木2号墳	両袖	2.90	1.30	3.77	TK217	須恵器	S
42	平木3号墳	両袖	3.70	1.56	5.77	TK217	(なし)	S
43	平木4号墳	左片袖	3.60	1.40	5.04	TK217	須恵器, 土師器	S
44	石ヶ鼻古墳	両袖	4.20	1.90	7.98		(未調査)	I
45	楠井1号墳	右片袖	3.20	1.80	5.76	TK209~TK217	須恵器, 土師器, 銀環, 太刀, 鉄鏃	A A
46	龍満山1号墳	両袖	4.10	1.70	6.97	TK209	須恵器, 銀環, ガラス玉, 馬具, 刀子, 鉄鏃	F
47	横岡山古墳	左片袖	2.90	1.80	5.22	TK209	須恵器, 太刀, 馬具	E
48	東赤坂古墳	右片袖	3.70	2.20	8.14		(未調査)	E, H
49	浅野八王子古墳	左片袖	3.20	1.70	5.44	TK209	須恵器, 耳環, 切子玉	A, G
50	万塚古墳	右片袖	2.44	1.80	4.39	TK209	須恵器, 金環, ガラス玉, 馬具, 太刀, 鉄鎌	G, T
51	矢野面古墳	両袖	3.80	2.47	9.39	TK209?	須恵器	U
52	平石上2号墳	右片袖	3.03	1.80	5.45	TK209	須恵器, 耳環, 練玉, 刀子, 鉄鏃	本書
53	平石上3号墳	右片袖	3.40	1.80	6.12		須恵器	Z
54	中山田3号墳	両袖	3.20	1.70	5.44		須恵器, 銀環, 勾玉, 管玉, 馬具, 短刀, 鉄鏃	C
55	中山田4号墳	両袖	4.20	2.00	8.40		須恵器	C
56	葛谷古墳	右片袖					須恵器, 銀環, ガラス玉	C
57	丸山古墳	左片袖	2.40	1.90	4.56		(未調査)	H
58	勝負谷1号墳	両袖	1.80	1.80	3.24		須恵器	W
59	天神山1号墳	右片袖	2.70	1.10	2.97	TK43~TK209	須恵器, 銀環, 勾玉, 管玉, 馬具, 鉄鏃	Y
60	天神山3号墳	右片袖	3.40	1.30	4.42	TK43~TK209	須恵器, 金環, 管玉, ガラス玉, 馬具, 鉄鏃	Y
61	西土居6号墳	左片袖	2.10	0.80	1.68		須恵器, 刀子	X
62	西土居15号墳	右片袖	2.50	1.10	2.75	TK43~TK209	須恵器, ガラス玉, 鉄鏃, 紡錘車	X
63	野倉4号墳	右片袖	1.90	1.20	2.28	TK209	須恵器, 刀子, 鉄鏃	D
64	西浦谷1号墳	両袖	3.06	1.12	3.43	TK209	須恵器, 鉄釘	A C

第5表 高松平野における主要な横穴式石室の比較表